

大阪ヘルスケアパビリオン



地域交流
万博特集

田原 裕之*

Osaka Healthcare Pavilion

Key Words : Reborn



はじめに

万博といえば、まず思い浮かぶのが海外パビリオンや企業パビリオンですが、2025年大阪・関西万博で、開催地自治体である大阪府・大阪市は経済界等と連携し、「大阪ヘルスケアパビリオン」を出展します。

大阪は古くから、国内外の玄関口として多くの人やものを受け入れ発展し、「天下の台所」として我が国の経済を支えつつ、豊かな歴史・文化を築いてきました。進取の気質を持つ大阪の人々は、様々な新製品・サービスや時代を先取りした社会システムを生み出し、オンリーワンの技術を有する中小企業や最先端の研究開発拠点の集積といった産業分野での優位性に加え、外国人観光客に人気の国際観光都市としても、その魅力は高まっています。

世界の国や地域から人が集まる万博に、産学官の力を結集して地元パビリオンを出展することで、大阪の魅力とポテンシャルの発信はもとより、人々の

生活の質の向上、SDGs達成、さらには世界の多様な人材が万博開催を契機に大阪で交流・融合し、イノベーションを創出することにも寄与します。

パビリオンの特色

パビリオン出展を実現するため、大阪府市と経済界、企業、大学・研究機関、有識者等で構成される大阪パビリオン推進委員会と、実行組織として設立された公益社団法人大阪パビリオンが一体となり、企画・準備にあたっています。

出展参加のテーマはREBORN。「人は生まれ変わる」、「新たな一步を踏み出す」の意味を込めたこのテーマのもと、健康の観点から未来社会の新たな価値の創造に挑戦します。

大阪を中心とした産学官民の様々な主体の知恵とアイデアを結集させ、資金面でも、公費負担に加え、企業・団体・個人から協賛や寄附を募って充当する公民一体のパビリオンを作りあげます（公費負担額は民間負担額を限度として財務計画を立案）。

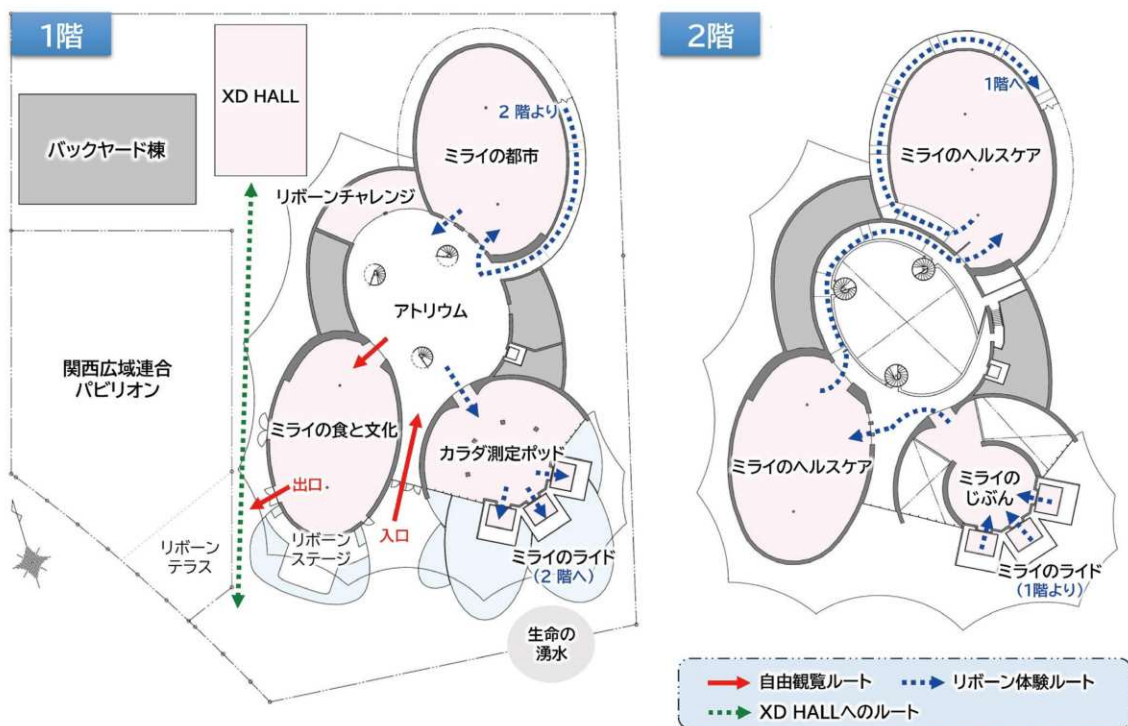
子どもから大人までワクワクできる展示コンテンツに、ユニバーサルデザインの徹底、多言語対応、バーチャルパビリオンの開設など、すべての来館者が安心して楽しめるパビリオンをめざしています。

※建物・建築については、このあと株式会社東畑建築事務所さんより紹介



* Hiroyuki TAHARA

1975年7月生まれ
神戸大学 国際文化学部 コミュニケーション学科 言語論専攻 (1998年)
現在、公益社団法人 2025年日本国際博覧会大阪パビリオン
総務課長
TEL : 06-6615-6709
E-mail : hir-tahara@expo2025-osakapv.or.jp



パビリオンの平面図

リボン体験ルート

大阪ヘルスケアパビリオンでは「2050年を想定したミライの都市生活の体験」を展示テーマに掲げています。

その中心となるのが「リボン体験ルート」。ここでは、来館者がカラダ測定ポッドで取得する心血管・筋骨格・肌・髪・脳・視覚・歯の7つの項目に関する健康情報（PHR: Personal Health Record）をもとに生成される「ミライのじぶん」が、ミライのヘルスケアや都市生活に関する様々な展示を通して生まれ変わるのを体験できます。

【リボン体験の流れ】

- (1) カラダ測定ポッドでPHRを取得後、ミライのライドに乗り2050年頃の未来都市の映像を眺めながら2階へ上がり、ミライの

じぶんに出会う。

- (2) 取得したPHRを基にパーソナライズされた様々なミライのフードやヘルスケア体験を受ける。
- (3) PHRに基づいてすすめられた、栄養・身体・心に関する様々なミライのヘルスケアを体験し、PHRの改善を実感する。
- (4) 2050年頃の実現が想定されるミライの都市で「ミライのじぶん」の生まれ変わりを体験し、リボン体験が完結。

リボン体験ルートを構成する各展示コンテンツは、約20社の協賛企業が技術・アイデアを結集したもので、健康、医療、美容、食から住宅、教育、交通まで、多彩に展開します。体験時間は60分近



カラダ測定ポッド



ミライの都市

くで、事前予約が必要なルートです。

その他のコンテンツ

他にも、来館者にワクワクしていただける様々なコンテンツを企画・実施します。

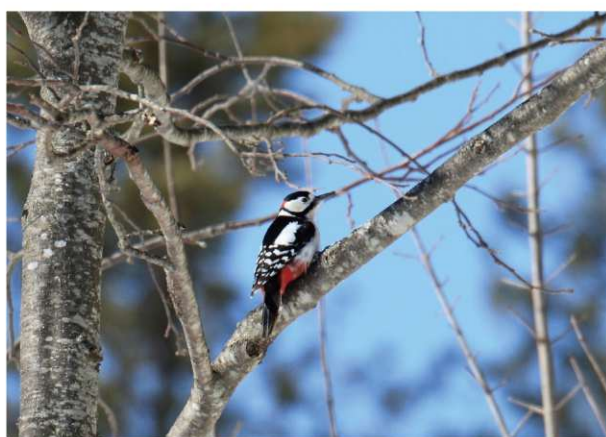
- ・再生医療展示 (iPS細胞から作成した心筋シートや生きる心臓モデルの展示)
- ・リボンチャレンジ (大阪の優れた中小企業やスタートアップが週替わりで技術を展示)
- ・ミライの食と文化 (大阪の豊かな食文化や新たな食文化の発信とフード・ドリンク提供)
- ・XD HALL (圧倒的な没入感が味わえる先端技術を用いたミライのエンターテインメント)
- ・いのちの湧水 (透明な球体で水耕栽培と陸上養殖の循環型生産システムを屋外に展示)
- ・リボンステージ (屋外の水盤上にステージを設置し、毎日のようにイベントを開催)

おわりに

既に昨年10月に完成しているパビリオンの建物の内部では現在、3月の完成をめざして展示工事が進められています。加えて、安全対策や危機管理を含む運営・接遇の準備、行事・催事の調整、広報活動にも精力的に取り組み、多くの予約と、来館者の獲得を図ります。

万博会期は半年間ですが、「REBORN」の出展テーマのもと、大阪の魅力やホスピタリティとともに世界に発信するこのパビリオンの取組みは、一過性のイベントで終わらせることなく、ハードとソフトの両面でレガシーとして後世に承継し、大阪の成長と経済発展につなげることをめざします。

訪れる全ての人々が安心して楽しみ、思い出に残るパビリオンとなるよう、4月13日の万博開幕に向け準備には万全を期し、アテンダントやボランティアをはじめとした全てのスタッフとともに、世界中のお客様の来館をお待ちしています。



アカゲラ